

施策番号 4-1-1	施策名 学校教育の充実	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		
		政策名	豊かな心を育む人づくりの推進		
主管課 施策関係課	学校教育課	課長名	松浦 智幸	内線	511

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。		児童生徒	確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、「生きる力」を身に付ける				児童生徒が社会に出たときに自立できる
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 「学校生活や授業が楽しい」と思う児童生徒の割合	学校評価	%	89.3	88.5	89.4	90.0	
② 「授業が子どもにとって楽しく分かるように進められている」と思う保護者の割合	学校評価	%	83.6	85.4	80.6	85.0	
③ 毎日朝食を摂っている児童生徒の割合	生活習慣・学習環境等状況調査	%	88.5	85.7	83.1	90.0	
成果指標設定の考え方	①及び②については、各学校の学校評価項目から、類似又は関連する評価項目を参考にするとともに、前期実施計画の実績なども考慮し目標値を設定した。 ③については、前期実施計画では食育の推進を成果指標としていたが、児童生徒の健やかな体の育成からも本施策の成果指標とし、①及び②同様、前期実施計画の実績なども考慮し目標値を設定した。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	1,238,297	907,458
人工数(業務量)	6.0677	6.4412

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	「②」成果指標は前年度を下回ったが、「①」の成果指標は前年上回るとともに「③」の成果指標も前年を下回ったものの、全国・全道平均以上のため、総体としては「成果は変わらなかった」とした。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	結果としては、最終年度における目標達成とはならなかったが、①の項目は、概ね目標達成数値となったが、②の項目は保護者アンケート等による数値把握のため、年度により数値の増減があった。 また、③の項目についても、全国・全道平均以上の数値であり、朝食を「毎日食べている」及び「ほぼ食べている」割合では、95.2%以上となっている。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	(小学校・中学校)施設維持管理事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
	児童生徒支援事業		
	(小学校・中学校)教材・教具整備事業		
	学校給食管理運営事業		
③事務事業全体の振り返り(総括)	・学校施設などについては、年次計画に基づき工事・備品購入を行うとともに緊急修繕等の実施により、安心・安全な教育環境の整備に努めた。 ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対しては、各学校の実態を踏まえた上で教育活動指導助手や学校支援員を配置し、個に応じた学習支援を行うとともに、小学校3・4年生の35人以下学級編制のため教育活動指導助手を配置するとともに、平成30年度からは小学校5・6年生へも拡大し実施した。 ・芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」実施、食物アレルギー等に対する代替食の提供、栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設などの老朽化対策や多様なニーズへの対応と、個別施設毎の長寿命化計画の策定。 ・社会に開かれた教育課程の実現を重視した新学習指導要領(小学校での英語教科化やプログラミング教育など)への対応とともに、地域とともにある学校づくりの推進。 ・町の発達支援システムと連携した特別なニーズに対応した教育の推進のための教育活動指導助手や学校支援員の充実。 ・学校給食(食物アレルギー対応を含む)の提供と食育指導の継続に向けた体制などの継続充実。 ・学校給食費保護者負担金の在り方検討
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくりとしてのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進。 ⇒令和元年度から学校運営協議会制度をスタート ・大学等奨学金貸付制度や就学援助など教育の機会均等などの確保に向けた施策の充実。 ⇒平成29年度から、連帯保証人の町内在住要件の廃止、通年貸付の実施、貸付者が卒業後芽室町に戻り、一定期間居住等をした場合の一部償還免除制度の創設 ⇒平成29年度から、就学援助の新入学用品費に係る入学前支給を実施 ・修学旅行費や学校給食費などの保護者負担金への支援。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領実施など教育環境の整備に向けた対応 ⇒外国語活動・外国語科の推進に向けた英語指導助手の配置や、プログラミング教育等のためのICT教育環境の整備 ⇒少人数学級の拡大や発達支援システムと連携した特別支援教育の充実に向けた人員の増員 ○学校施設などの環境整備 ⇒長寿命化基本とした老朽化改修と多様なニーズに対応した施設整備 ⇒個別施設毎の長寿命化計画の策定 ○学校給食の提供や食育指導に向けた体制の充実 ⇒児童生徒数の減少に伴う道教委配置の栄養教諭の減員に伴う対策と体制の充実

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	学校指導助手の配置拡大や施設整備など、教育環境の充実に努めており、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	個別施設の改修や、多様なニーズに対応した環境整備など計画的に進めてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した 				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	少人数学級の拡大やそれに伴う指導助手の配置など、独自の施策に取り組んでおり、他課と連携した対応も行っている。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	授業数の増加による時間割の配分など、町も状況を確認しながら進めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した 				